

会 告

第69回講演大会講演募集

来春4月に東京大学で開催予定の第69回講演大会において講演発表をご希望の方は、下記要領をご覧のうえ、奮ってご応募下さい。

1. 講演申込締切 昭和39年11月16日（月）期日厳守のこと
2. 講演申込先 東京都千代田区丸ノ内1-1 交通公社ビル
日本鉄鋼協会 編集課
3. 申込方法 添付の申込用紙、講演論文カードに必要事項をご記入のうえ、講演論文原稿同封、前記申込先に送付のこと。
(必要書類の添付されていない申込み、電報、電話による申込みは理由の如何にかかわらず受け付けません)
講演される方は本会会員に限りますので、会員外の方で講演希望の方は入会手続きを終了後、講演申込みをして下さい。
4. 講演時間 1講演20分以内
5. 講演論文原稿 原稿は表、図、写真を含め本会所定の原稿用紙8枚以上16枚以内とし、図、写真は合わせて5コ以内とする。原稿執筆の際に次の各事項につき特に注意すること。また寄稿規定は本誌2141ページに掲載したので参照のこと。
 - イ) 原稿表紙に必要事項を記入し、原稿用紙には題目、著者名など重複記入しないこと。
 - ロ) 英文（和文）要旨には研究目的、方法、結果を書くこと。また要旨は原稿枚数には入れない。
 - ハ) 文字は楷書にして、句読点を付し、鉛筆書きはさけること。
 - ニ) 原稿中年号は西暦年号を用いること。
 - ホ) 原稿中ギリシャ文字、イタリック、数式の記号、上ツキ下ツキは明瞭に記入し、それぞれ指定すること。
 - ヘ) 表の原稿には図を挿入しないこと。
 - ト) 数字は2字で和文活字の1字に相当するので表の原稿作成には特に注意のこと。また縦、横のケイも1字分に相当する
 - チ) 図の原稿は複写したものは用いないこと。また図原稿は規定第15項によつて作図し、方眼状の目盛りを入れること。
 - リ) 顕微鏡写真には必ず倍率を明記すること。
 - ヌ) 図、写真原稿は本文原稿の後に一括し、著者名を明記すること。
 - ル) 謝辞は省略すること。
 - ヲ) 講演論文中単なる工場設備、製品の紹介、工場建設の記録にすぎないものは論文原稿として採用しない。
6. 講演論文集 「鉄と鋼」第51年3月号として刊行いたします。講演申込が多数の場合、4月号も講演論文集として刊行いたします。
7. 講演用ピラ・スライド 講演会場掲示の図面の寸法は横1・2m以内とします。（掲示は2カ所）、スライドは35mm版に限ります。
8. 原稿用紙 協会所定の原稿用紙は1冊30枚綴30円で頒布いたします。送料は下記の通りです。

1部 20円、2部 40円、3部 60円
4部 80円、5部 90円、6部 100円

受付番号	講演題目	幻燈	勤務先	学年	氏名 (講演者○印)	※印協会事務局で記入	
						和文	英文
※	□	□	□	□	□	□	□
講演者(ローマ字)氏名		_____					

公開講演会開催のお知らせ

第68回講演大会の際に標記公開講演会が下記の通り開催されることとなりました。多数ご参加下さるようご案内いたします。

記

1. 日 時 昭和39年10月3日(土) 13:00 より

2. 場 所 富山大学 黒田講堂

3. 講演および講師

13:00	開会の辞	大会名誉委員長 富山大学学長	横田 嘉右衛門君
-------	------	-------------------	----------

挨拶	富山市長	湊 栄吉君
----	------	-------

13:20	移り変わる世界の鉄鋼事情	日本金属学会会長 日本钢管株式会社社長	赤坂 武君
-------	--------------	------------------------	-------

14:00	鉄鋼と社会	日本鉄鋼協会会长 八幡製鉄株式会社副社長	湯川 正夫君
-------	-------	-------------------------	--------

15:00	閉会の辞	大会実行委員長	森 棟 隆 弘君
-------	------	---------	----------

4. 映画

15:15 日本の鉄鋼(約50分)

~16:30 世紀の金属アルミニウム(約30分)

訪英鉄鋼視察団報告書刊行について

本会が英国に派遣いたしました鉄鋼視察団は、帰国以来数回にわたり、報告書のとりまとめ作業を行なってまいりましたが、報告書を総括篇、各論篇に分けて刊行いたすことになりました。そのうち総括篇は9月末日頃刊行の予定で、現在印刷作業を進めております。本報告書は下記のごとく有償頒布いたしますので、ご希望の方はお申込み下さい。

記

1. 書名 訪英鉄鋼視察団報告書 総括篇

2. 頒価 会員 800円 } 送料別
非会員 1,200円 }

3. 申込方法 「訪英鉄鋼視察団報告書 総括篇」および送付先を明記のうえ、現金書留でお申し込み下さい。

4. 申込先 東京都千代田区丸の内1の1
交通公社ビル 日本鉄鋼協会

なお、各論篇につきましては、11月頃刊行の予定であります。希望者は予約受付をいたしますので、お申込み下さい。

予想頒価 会員 2,000円、非会員 3,000円

名誉会員推挙について

本会では鉄鋼に関する学界、業界にあつてその発展に功績のあつた次の4氏を本会名誉会員に推挙いたすことに、理事会および評議員会において議決されましたので、来る10月2日(金)富山大学において開催されます本会第68回講演大会の際に推挙式を行ない、名誉会員推挙状ならびに名誉会員章を贈呈することになりましたのでお知らせいたします。

角野尚徳君 (八幡製鉄株式会社相談役)

塩沢正一君 (早稲田大学名誉教授)

西山弥太郎君 (川崎製鉄株式会社社長)

広田寿一君 (住友金属工業株式会社会長)

訪英鉄鋼視察団報告講演会開催案内

本会が英国に派遣いたしました鉄鋼視察団は4月末日より約3週間、英國各地の鉄鋼工場、研究所などを視察、また英國鉄鋼界首脳と懇談いたしましたが、同視察団の報告講演会を下記のごとく第68回講演大会の際に行なうことになりました。会員多数お誘い合わせのうえご来聴下さるようご案内いたします。

記

1. 日時 昭和39年10月2日(金) 10:00~12:00
2. 場所 富山大学黒田講堂および経済学部
3. 講演および講師 (本誌1532ページ参照)

なお、本講演会は湯川団長の挨拶の後、1) 原料および製銑、2) 製鋼および連続鋳造、3) 圧延およびオートメーション、4) 研究、の4部門に会場を分け、各担当団員よりそれぞれ報告講演が行なわれます。

共同研究会報告講演会開催案内

共同研究会第4回報告講演会を10月3日(土)午前9時より富山大学経済学部1番教室において下記の通り開催いたしますので、多数会員お誘い合わせのうえご来聴下さい。

記

9:00 開会挨拶

共同研究会幹事長 山岡 武君

9:05 最近の高炉技術の進歩について

製銑部会長 林 敏君

10:00 圧延理論分科会共同研究報告

(熱間振り試験、変形抵抗、圧延機剛性について)

圧延理論分科会主査 安藤卓雄君

10:50 海水使用の障害とその対策について

調査部会前幹事 道見寛之君

11:25 鉄鉱石分析方法の新JIS案について

鉄鋼分析部会鉄鉱石分析分科会主査

高野重徳君

講演大会会場について

第68回講演大会の会場は下記の通り経済学部と薬学部の各教室を使用することとなりました。教室の位置は会場略図をご覧下さい。

なお、第7会場、第8会場は第2日目(10月3日)と第3日目(10月4日)使用教室が入れ換わりますので特にご注意下さい。

名 誉 会 員 推 拳 式
パ ネ ル 討 論 会

訪 英 視 察 団 報 告 講 演 会

共 同 研 究 会 報 告 講 演 会

第 1 会 場

第 2 会 場

第 3 会 場

第 4 会 場

第 5 会 場

第 6 会 場

第 7 会 場

第 8 会 場

第 1 日
(10月2日)

黒田講堂

黒田講堂および
経済学部教室
(第3,4,5会場)

第 2 日
(10月3日)

経済学部1番教室(午前)

薬学部第4講義室

薬学部第2講義室

経済学部1番教室(午後)

経済学部2番教室

経済学部3番教室

薬学部第3講義室

経済学部第4講義室

薬学部第1講義室

第 3 日
(10月4日)

薬学部第4講義室

薬学部第2講義室

経済学部1番教室

経済学部2番教室

経済学部3番教室

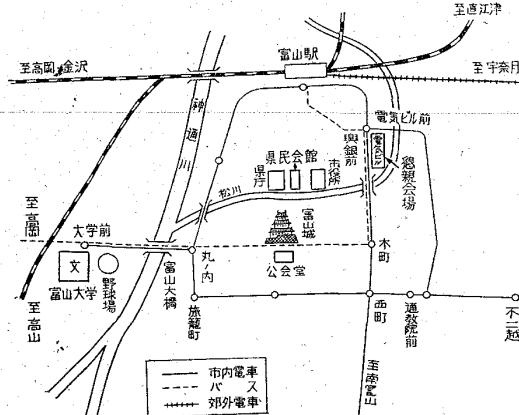
薬学部第3講義室

薬学部第1講義室

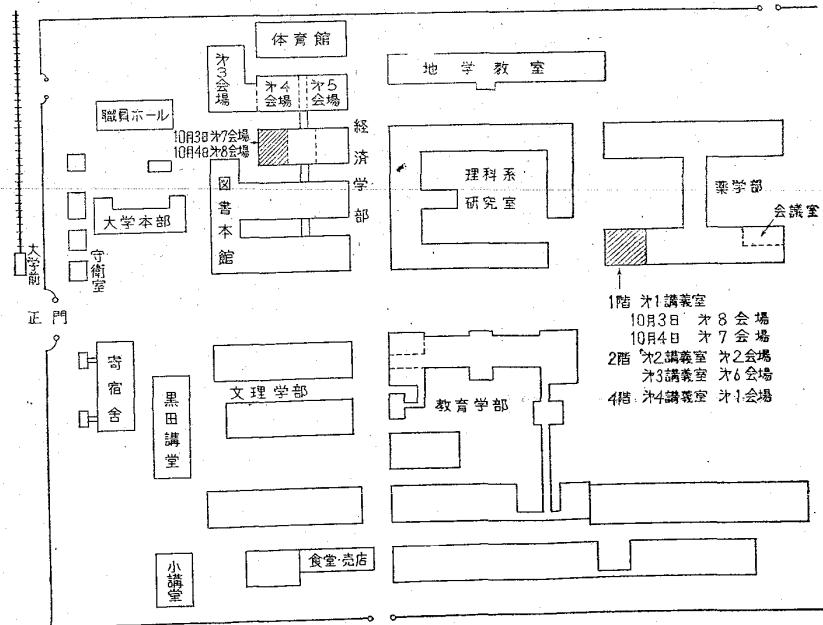
経済学部第4講義室

会 場 案 内 図

市内略図



富山大学会場略図



交通機関案内

- 1) 富山駅より大学まで
バス=駅前より高岡行→五福大学前下車 電車=丸ノ内乗換え大学前下車(終点)
- 2) 高岡駅より大学まで
バス=駅前より富山駅行(準急バスの場合は中滑川行)→五福大学前下車
国鉄=高岡より富山下車、前記を利用のこと
- 3) 富山大学より電気ビルまで
バス=五福大学前より富山駅行→興銀前下車